

人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業
「拠点機関におけるデータ共有基盤の構築・強化委託業務」
評価結果表

業務実施研究機関	国立大学法人 一橋大学
業務実施研究所等	一橋大学経済研究所
業務主任者	深尾 京司・特任教授
総合評価:A	
総合評価に関するコメント	
<p>多くの研究者にとって有用度の高い既存データの電子化作業が着実に進められている。データの国際的利用に向けた英語化の作業も順調に進んでおり、高く評価できる。</p> <p>一方で、公的統計の統計表について、PDF 画像化にとどまっているものについては、CSV 形式等汎用性の高いデータ形式で保存と共有を実施する体制の整備が望まれる。</p> <p>データの存在と活用方法を周知することは、研究コミュニティに対してデータの保存・共有を広く促すことにつながるため、利活用促進のためのセミナー開催など啓発・研修活動にも積極的に取り組んでいただきたい。とりわけ、一橋大学が扱っているデータは、社会科学だけではなく歴史学においても有用なものが多いと思われるので、分野を横断してデータの保存と共有の文化を醸成する活動への貢献が期待される。</p>	

※ 【総合評価】に対する標語は下記のとおり。

- S: 委託業務のこれまでの実施状況がたいへん優れており、今後の計画等についても本事業推進への貢献度が非常に高いと見込まれる。
- A: 委託業務のこれまでの実施状況が優れており、今後の計画等についても本事業推進への貢献度が高いと見込まれる。
- B: 委託業務のこれまでの実施状況は概ね問題なく、今後の計画等についても本事業推進への貢献が見込まれる。
- C: 委託業務のこれまでの実施状況はやや問題があり、今後の計画等については本事業推進に貢献するうえで改善が必要と判断される。
- D: 委託業務のこれまでの実施状況は問題が多く、中止が妥当と判断される。